

# 公法研究会

**日時** 2月20日（金）14時00分～

**場所** 法学部棟3階 321研究会室  
(Google Meetを使用したハイブリッド形式にて実施)

## 報告者および報告内容

曾我部 真裕 氏（京都大学大学院法学研究科 教授）

## 「日米同性カップル在留資格訴訟とマクリーン法理」

本研究会に参加を希望される方は、**2月13日(金)**までに  
**教育研究支援センター(koho@juris.hokudai.ac.jp)**（担当・山下）まで  
ご連絡をお願いします。  
その際、**対面／オンラインのどちらで参加希望か**をお知らせください。  
参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、  
GoogleMeet リンクURLをご案内いたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（上記アドレス / Tel 706-3862）



# 刑事法研究会



日 時： 2月21日(土)14時～

場 所： W203 室(ハイブリッド開催)

【博士論文構想報告報告】

『単独正犯における  
正犯概念の実質について』

報告者： **千田峻平氏**(北海道大学D1)

【研究報告】

『犯罪収益の剥奪の拡大と人権保障について  
—欧州における動向を参考に—』(仮題)

報告者： **横濱和弥氏**(北海道大学准教授)

◆◆刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様◆◆

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、

教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)宛、

研究会前日までに、メールにてご連絡ください♪



北海道大学  
法学部・法学研究科・法科大学院  
School of Law Hokkaido University



# 刑事法研究会



日 時： 2月28日(土)14時～

場 所： W203室(ハイブリッド開催)

## 【研究報告】

入管収容における刑法 218 条(保護責任者遺棄等)  
の適用可能性 一保護責任者としての主体適格と  
要保護者(「病者等」)該当性を中心に  
／収容下死亡事案を手がかりに

報告者： **左 姥雨** 氏(北海道大学助教)

## 【研究報告】

死因認定における専門家証言の法的問題  
—大阪高裁令和6年11月28日(今西事件控訴審  
判決)判例時報2630号5頁以下を素材として—

報告者： **上田信太郎** 氏(北海道大学教授)

### ◆ 刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様 ◆

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、

教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)宛、

研究会前日までに、メールにてご連絡ください♪



北海道大学  
法学部・法学研究科・法科大学院  
School of Law Hokkaido University

# 社会保障法研究会

日 時：2月28日(土)14時～18時予定

場 所：法学研究棟403室(ハイブリッド方式)

## ①【判例報告】福島豪氏（関西大学）

「支給量の決定に際しての介護者の状況の考慮  
—千葉地判令5・10・31賃社1884号44頁の検討—」

## ②【判例報告】川久保寛(北海道大学)

「ひとり親に対する障害基礎年金と児童扶養手当の  
併給調整（最三小令7・6・10裁判所時報1865号  
16頁）」

☆次回の研究会は、4月11日に予定しています。

☆会員以外で参加ご希望の方は、遅くとも前日までに幹事までご連絡ください  
(原則、対面参加です)。

幹事(川久保) [dnm69686@elms.hokudai.ac.jp](mailto:dnm69686@elms.hokudai.ac.jp)



北海道大学  
法学部・法学研究科・法科大学院  
School of Law Hokkaido University